

(講座)
(氏名) 藤 秀人

(研究室) 治療薬剤学
(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 生体リズムを基盤とした医薬品適正使用に関する研究
2. 投薬タイミング規定因子を用いた癌化学療法に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. T. Kurosaki, T. Kitahara, S. Kawakami, K. Nishida, J. Nakamura, M. Teshima, H. Nakagawa, Y. Kodama, H. To, H. Sasaki: The development of a gene vector electrostatically assembled with a polysaccharide capsule, *Biomaterials* **30**, 4427- 4434 (2009). (IF: 6.646)
2. T. Kurosaki, T. Kitahara, S. Fumoto, K. Nishida, J. Nakamura, T. Niidome, Y. Kodama, H. Nakagawa, H. To, H. Sasaki: Ternary complexes of pDNA, polyethylenimine, and gamma-polyglutamic acid for gene delivery systems, *Biomaterials* **30**, 2846- 2853 (2009). (IF: 6.646)
3. T. Kurosaki, R. Kishikawa, M. Matsumoto, Y. Kodama, T. Hamamoto, H. To, T. Niidome, K. Takayama, T. Kitahara, H. Sasaki: Pulmonary gene delivery of hybrid vector, lipopolyplex containing N-lauroylsarcosine, via the systemic route, *J. Control. Releas.* **136**, 213- 219 (2009). (IF: 5.690)
4. T. Akagi, T. Fukagawa, Y. Kage, H. To, N. Matsunaga, S. Koyanagi, A. Uchida, A. Fujii, H. Iba, T. Ikemura, H. Aramaki, S. Higuchi, S. Ohdo: Role of glucocorticoid receptor in the regulation of cellular sensitivity to irinotecan hydrochloride, *J. Pharmacol. Sci.* **109**, 265- 274 (2009). (IF: 2.599)
5. T. Yoshioka, S. Yoshida, T. Kurosaki, M. Teshima, K. Nishida, J. Nakamura, M. Nakashima, H. To, T. Kitahara, H. Sasaki: Cationic liposomes-mediated plasmid DNA delivery in murine hepatitis induced by carbon tetrachloride, *J. Liposome Res.* **23**, 1- 7 (2009). (IF: 2.089)
6. A. Kodama, H. To, T. Kinoshita, I. Ieiri, S. Higuchi: Influence of dosing schedules on toxicity and antitumour effects of combined cisplatin and docetaxel treatment in mice, *J. Pharm. Pharmacol.* **61**, 615- 621 (2009). (IF: 1.847)
7. H. To, S. Irie, M. Tomonari, Y. Watanabe, T. Kitahara, H. Sasaki: Therapeutic index of methotrexate depends on circadian cycling of tumor necrosis factor- α in collagen-induced arthritis rats and mice, *J. Pharm. Pharmacol.* **61**, 1333- 1338 (2009). (IF: 1.847)

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 田中茉莉子, 手嶋無限, 山原梢, 中嶋憲一郎, 龍恵美, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: 各種処方過誤防止のための疑義照会実態調査とその解析 九州薬学会会報 **63**, 59- 62 (2009).

2. 吉岡大樹, 兒玉幸修, 山口健太郎, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: Trastuzumab 初回投与量の違いが infusion reaction の発現に及ぼす影響 *日病薬誌* **45**, 1490- 1493 (2009).
3. 金子智恵子, 山崎浩則, 阿比留教生, 藤島圭一郎, 厨源平, 佐藤剛, 森内昭江, 福島慶子, 尾崎方子, 川崎英二, 藤秀人, 江口勝美: 2 型糖尿病合併高コレステロール血症患者のリポ蛋白プロファイルに対するピタバスタチンの影響 リポ蛋白 20 分画解析法を用いて *Progress in Medicine* **29**, 2275- 2280 (2009).
4. 北原隆志, 中川博雄, 清水千恵子, 浅井揺奈, 兒玉幸修, 濱本知之, 藤秀人, 佐々木均: タクロリムス血中濃度測定機器の比較検討 *医療薬学* **35**, 453- 457 (2009).
5. 兒玉幸修, 樋口則英, 江頭かの子, 山口健太郎, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: がん化学療法による遅発性悪心・嘔吐に対する制吐療法の実態調査と評価 *日病薬誌* **45**, 781- 783 (2009).

(B-b) 総説

1. 藤秀人: 抗リウマチ薬の時間治療への展望 *時間生物学* **15**, 33- 39 (2009).

(B-d) 紀要

1. 藤秀人: 基礎研究を基盤とした抗ガン剤の併用療法の構築 薬学研究の進歩研究報告書 **25**, 45- 53 (2009).
2. 藤秀人: 腫瘍組織中トランスポーター発現の日周リズムに基づく cisplatin の至適投与方法の構築 病態代謝研究会 第 38 回助成研究報告集 11- 13 (2009).
3. 藤秀人: 抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立 厚生労働省科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業) 抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立に関する平成 20 年度総括・分担研究報告書 pp 4- 7, 2009.
4. 藤秀人: 関節リウマチ患者を対象としたメトトレキサートの時間治療 厚生労働省科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業) 抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立に関する平成 20 年度総括・分担研究報告書 pp 9- 11, 2009.
5. 藤秀人: RA 発症に基づく生体リズム変容の機序解明 厚生労働省科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業) 抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立に関する平成 20 年度総括・分担研究報告書 pp 12- 15, 2009.

【学会発表】

B 国内学会

(B-a) 招待講演, 特別講演, 受賞講演

1. 藤秀人; がん治療の質を高めるための薬学的アプローチ 第 68 回日本癌学会学術大会 (横浜、2009 年 10 月)
2. 藤秀人; 抗リウマチ薬の時間薬物療法を目指して 第 17 回クリニカルファーマシーシンポジウム (京都、2009 年 7 月)

(B-b) 一般講演

1. 手嶋無限, 原澤仁美, 嶺豊春, 長井一浩, 上平憲, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: 血液製剤の適正使用ガイドラインに基づくアルブミン製剤使用実態の評価・解析, 第19回日本医療薬学会年会(長崎、2009年10月)
2. 兒玉幸修, 森田光貴, 樋口則英, 佐藤加代子, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: 市販ソフトを用いた制吐療法設計支援システムの開発, 医療薬学フォーラム2009第17回クリニカルファーマシーシンポジウム(京都、2009年7月)
3. 江頭かの子, 渡部祐子, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: エリスロポエチン製剤とダルベポエチン製剤におけるヘモグロビン濃度推移およびヘモグロビン変動量の比較, 医療薬学フォーラム2009第17回クリニカルファーマシーシンポジウム(京都、2009年7月)
4. 今村正信, 中川博雄, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: 術後感染予防の適正化を目指した経口・注射用抗菌薬の使用実態調査, 医療薬学フォーラム2009第17回クリニカルファーマシーシンポジウム(京都、2009年7月)
5. 富松規子, 中川博雄, 兒玉幸修, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: 化学発光免疫測定法(CLIA法)を用いたシクロスポリン血中濃度測定法の評価, 第26回日本TDM学会・学術大会(新潟、2009年6月)
6. 樋口則英, 飯尾直美, 兒玉幸修, 森田光貴, 佐藤加代子, 田中茉莉子, 塚元和弘, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: オピオイド使用患者の下剤使用状況に関する調査解析, 日本薬学会第129年会(京都、2009年3月)
7. 松永典子, 稲垣志保, 中村忠博, 樋口則英, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: ステロイドパルス療法中の膠原病患者におけるアムホテリシンB含嗽液の白苔予防効果, 日本薬学会第129年会(京都、2009年3月)
8. 手嶋無限, 下田賢一郎, 上松聖典, 草野真央, 北岡隆, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: 生体角膜電気抵抗値を指標とした点眼剤製剤設計の提案～点眼剤防腐剤が及ぼす影響の検討～, 日本薬学会第129年会(京都、2009年3月)
9. 手嶋無限, 原澤仁美, 嶺豊春, 藤秀人, 北原隆志, 長井一浩, 佐々木均, 上平憲: 長崎大学医学部・歯学部附属病院におけるアルブミン製剤使用実態調査; 適正使用ガイドラインに基づく評価と解析, 第57回日本輸血・細胞治療学会(埼玉、2009年5月)
10. 黒崎友亮, 北原隆志, 麓伸太郎, 西田孝洋, 中村純三, 藤秀人, 佐々木均: 負電化高分子を用いた被膜型遺伝子導入ベクターの開発, 日本薬剤学会第24年会(静岡、2009年5月)
11. 友成真理, 藤秀人, 大戸茂弘, 樋口駿, 佐々木均: DocetaxelのCeruloplasmin増加作用によるAdriamycin誘発心毒性軽減の機序解明, 第3回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム(福岡、2009年11月)
12. 嶋村浩太郎, 藤秀人, 佐々木均: Cisplatin誘発性末梢神経障害に及ぼす投薬時刻の影響, 第3回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム(福岡、2009年11月)
13. 嶋村浩太郎, 藤秀人, 小柳悟, 岡崎史泰, 大戸茂弘, 佐々木均: Cisplatin誘発末梢神経障害の軽減を目的とした時間薬理的検討, 第16回日本時間生物学会学術大会(大阪、2009年10月)
14. 藤秀人, 井田弘明, 佐々木均, 江口勝美: 関節リウマチ患者に対するメトトレキサート

の時間治療を導入した1例, 第53回 日本リウマチ学会学術集会 (東京、2009年4月)

15. 藤秀人, 佐々木均: マウスを対象とした抗リウマチ薬ミゾリビンの時間薬理的検討, 第53回 日本リウマチ学会学術集会 (東京、2009年4月)
16. 友成真理, 藤秀人, 稲垣志保, 北原隆志, 佐々木均: 遅発性下痢に及ぼす塩酸イリノテカンの投薬時刻の検討, 第7回日本臨床腫瘍学会学術集会 (名古屋、2009年3月)
17. 嶋村浩太郎, 藤秀人, 佐々木均: 末梢神経障害に及ぼすシスプラチンの投薬時刻の影響, 第7回日本臨床腫瘍学会学術集会 (名古屋、2009年3月)

【研究費取得状況】

1. 薬物間相互作用および腫瘍の生体リズムを基盤とした個別化治療予測システムの開発; 平成21年度 科学研究補助金 特定領域研究
2. 生体リズムモニタリングによる抗リウマチ薬の時間薬物療法の確立; 平成21年度 厚生労働省科学研究費 (免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業)
3. 研究助成金 抗リウマチ薬メトトレキサートの至適薬物療法の検討; 平成21年度 政策医療振興財団 研究助成金

【学会役員等】

1. 日本臨床薬理学会: 評議員
2. 日本薬学会: 医療薬科学若手シンポジウム世話人
3. 長崎県病院薬剤師会: 理事
4. 長崎県薬剤師会: 地域保健委員会 委員

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	37 編	(邦文)	17 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	5 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	2 編
特許	0 件		